

# トピックス

## 建設工事からの暴力追放

太田川ダム関係の施工業者からなる「太田川ダム建設工事安全協議会」の主催で、平成14年12月13日に暴力追放会議を開催しました。森町警察署、県警暴力団対策課、県暴力追放運動推進センターより、暴力団から不当な金品要求等を受けた場合の対応などについて講義を受けました。

安全協議会の代表が暴力追放宣言し、暴力に屈しない決意を表明しました。



▲太田川ダム関係の施工業者が集まり、熱心に講義を受けました。



▲記念式典には地元の方々をはじめ大勢の人人が集まりました。



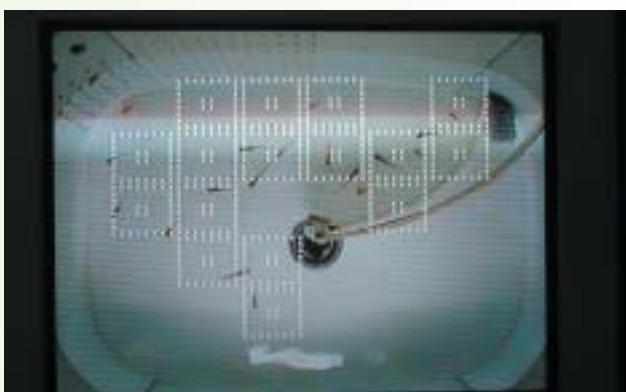
▲ダム湖を見下ろす高台に大まる様(向かって左)と八幡様(右)が移設されました。

## 企業局からのお知らせ

### 安全な水を供給するために

遠州広域水道は、県西部地方に暮らす人々が安心して生活を営むことができる、安全で良質な生活用水を、安定して供給することを目的に事業整備を進めています。

特に水質の安全性については細心の注意を払い、万一にも水質の事故がないよう体制をとっています。水質検査は水道法に基づく118項目の試験を定期的に行い安全を確認しています。



画像解析装置が生きたメダカの個体数を計測にしCRTに出力している瞬間

## 大まる様と八幡様の移設

古くから片吹地区に祀られ住民に親しまれてきた<sup>まつ</sup>\*大まる様<sup>どう</sup>(お堂)、<sup>やしろ</sup>八幡様<sup>（社）</sup>を、付替県道沿いの見晴らしの良い高台へ移設しました。平成14年11月24日に地元の方々など約120名の参加により移設記念式典が開かれ、神仏を供養し、先人への感謝を記した記念碑の除幕を行いました。この場所は片吹地区の歴史を後世に伝えていくとともに人々の憩いの場となるよう期待されます。

\*大まる様…縄文時代の石棒を祀り、懷妊及び安産祈願を目的として維持されてきた建造物。



水槽内のヒメダカ

また、テロや事故によって水道原水が毒物等に汚染された場合の対応として、於呂浄水場では、バイオアッセイ（生物センサー）を用いた監視装置を導入し、水質管理の強化を図っています。

この装置は、毒物反応に敏感なメダカ（ヒメダカ）をセンサーとし、そのメダカをカラーCCDカメラで365日24時間連続して監視しています。メダカの活動状況を速やかに解析し、異常を認識した場合には警報が発せられるようになっています。

## ダム本体工事

### ダム本体掘削工事

現在、右岸（西側）の掘削を行っています。山の上部から工事を始め、高さ7mごとに幅1.5mの小段を設け、斜面の安定と緑化を図ります。

平成15年度は河川の切り替え（転流）が完了する5月からは両岸にわたり掘削が可能となり、年度末には全体掘削量（76万m<sup>3</sup>）の約5割が完了できる予定です。



▲山を切り崩す作業で掘削機械が活躍しています。

## 原石山工事

原石山への進入路工事は平成14年度末に完成する見込みです。

平成15年度は原石山掘削の準備として木の伐採に着手するとともに、骨材製造（原石から石や砂を造る）設備の建設場所を整備します。



▲原石山へと続く進入路を造っています。

## 仮排水トンネル工事

現在、仮排水トンネル内部にコンクリートを巻き立てる工事を行っています。

平成15年5月にトンネルが完成の予定です。その後、転流を行います。



▲転流は上流側の坑口から川の流れを取り入れ、山の中を通して下流へ流します。



▲このトンネルは年1回程度の洪水を流すことの出来る大きさを確保しています。安全に洪水を流すためコンクリートで補強しています。

## 付替県道（大河内森線）工事

### 5号トンネル工事

平成14年7月から掘削を進めてきた、付替県道の最後のトンネルである5号（大月夜）トンネルが貫通しました。平成15年2月13日の貫通式には森町及び地元関係者約60名が参加して貫通を祝いました。道路の開通による地域振興への期待やダムの早期完成の願いなど地元来賓の方から挨拶をいただきました。

5号トンネルは平成15年12月に完成の予定です。完成後は原石山区間（約300m）を除いた付替県道の約94%（4.2km）を供用します。



▲貫通式参加者による通り初めが行われました。